



5月6日, 15:00~

記念講演 暗闇の後で： 抑留された日本人 民間人についての小説



戦時中のオーストラリア と日本の隠された物語



731部隊と繋がる防疫研究室で石井四郎の部下として働いた医師、茨木智和。

最高機密の下で目の当たりにした数々の事実により、彼は愛する人を失い、人生は流転を始める。

たどり着いた地・オーストラリアで開戦を境に“敵”となった彼は、強制収容所での日々を通じ、どう「暗闇」と向き合ったのか――

オーストラリア人作家パイパー・クリスティンが、受賞歴のある著書『暗闇の後で』について翻訳者の北條正司と語り合います。歴史的出来事の人間的な側面を掘り下げてみましょう。

パイパーは、オーストラリアの強制収容所と真珠貝ダイバー、そして日本陸軍の731部隊に関する調査を通じて得られた洞察を共有します。北條は、翻訳プロセスと彼の父親のブルームでの真珠貝ダイバーとしての経験と1940年代の強制収容について話します。

講演後には質疑応答が行われます。通訳は山内由理子博士。共催はオーストラリア学会関東例会。



クリスティン・パイパー博士

日豪ミックスレイスの作家 / ジャーナリスト
デビュー小説『After Darkness』は、University of Technology, SydneyのDoctor of Creative Artsを取得するために執筆され、ヴォーゲル文学賞を受賞、現在高校生の英語教材として使われている。日本では2023年に『暗闇の後で』として花伝社から出版。



北條正司教授

高知大学名誉教授 / 理学博士
化学に関する本を数冊執筆。『第二の故郷 豪州に渡った日本人先駆者たちの物語』、『北上して松前へ』を共訳した後に『暗闇の後で』を翻訳。北條氏の父親は29年間ブルームでの真珠貝ダイバーを務め、戦時中はオーストラリアで抑留されていた。



山内由理子博士

東京外国語大学准教授
シドニー大学博士号取得。現在はオーストラリア先住民と日本人のミックスの人々について研究している。

開催日時 / 場所

5月6日(月)

15:00-16:35

開催形態：ハイフレックス

東京外国語大学
海外事情研究所

研究講義棟
427号室

問い合わせ
yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp